

1 秒値から求めた短周期地磁気変換関数の時間変化

Time variation of Geomagnetic transfer function obtained from 1 second values

竹田 雅彦[1]

Masahiko Takeda[1]

[1] 京大・理・地磁気センター

[1] Data Analysis Center for Geomag.and Space Mag., Kyoto Univ.

長期間に亘る短周期地磁気変換関数の時間変化を調べるため、1983 年から 2002 年までの柿岡地磁気 1 秒値から、各月について LT2 時間ごとの 5 分以下の周期についての地磁気変換関数を求め、その長期変化を調べた。

その結果、顕著な変化としては周期 16 秒について 1993 年頃から急に Au(0 から 0.1), Bu(-0.05 から -0.3)が変化、Bv もほぼ同傾向、周期 128 秒では継続的に Au が減少、Bu は 1992-93 年で -0.2 ~ -0.3 程度に一度増加、その後再び減少といった変化が見いだされた。この間、1993 年 6 月から観測精度が 0.1nT 単位から 0.01nT に変化しているので、その影響も吟味したが、一部はそれに起因しているもののそのせいだけとはいえ、特に Bu については実際に変化している可能性が高い。

講演時には、他の期間の変化や他観測所の時間変化についても触れる予定である。